

# 平成21年度第2回いしかわ森林環境基金評価委員会 次 第

平成21年10月28日（水）

- 1 現地視察（七尾市、鹿島郡中能登町）
  - ・あいさつ 山本農林水産部次長
  - ・手入れ不足森林等視察
  
- 2 評価委員会（「ラピア鹿島」2階会議室）
  - ・あいさつ 佐藤農林水産部参事
  - ・議事
    - （1）いしかわ森林環境税の主な取組と実績
    - （2）平成21年度報告書について
    - （3）その他

いしかわ森林環境基金評価委員会 委員名簿

氏 名	役 職 等
有 川 光 造	石川県森林組合連合会会長
石 倉 紀久子	医療法人社団「和泉会」佐原病院事務次長
大 西 亮 子	中能登町地球温暖化防止推進協議会 副会長
角 光 雄	白山市長
越 島 正 喜	石川県商工会議所連合会専務理事
新 木 順 子	石川県漁業協同組合女性部長
中 島 史 雄	金沢大学名誉教授・弁護士
中 村 浩 二	金沢大学環日本海域環境研究センター長・教授
平 田 博	石川県町会区長会連合会会長
藤 多 典 子	石川県婦人団体協議会副会長
丸 山 利 輔 (委員長)	石川県立大学参与
南 洋 子	石川県商工会女性部連合会相談役
( 1 2 名 )	

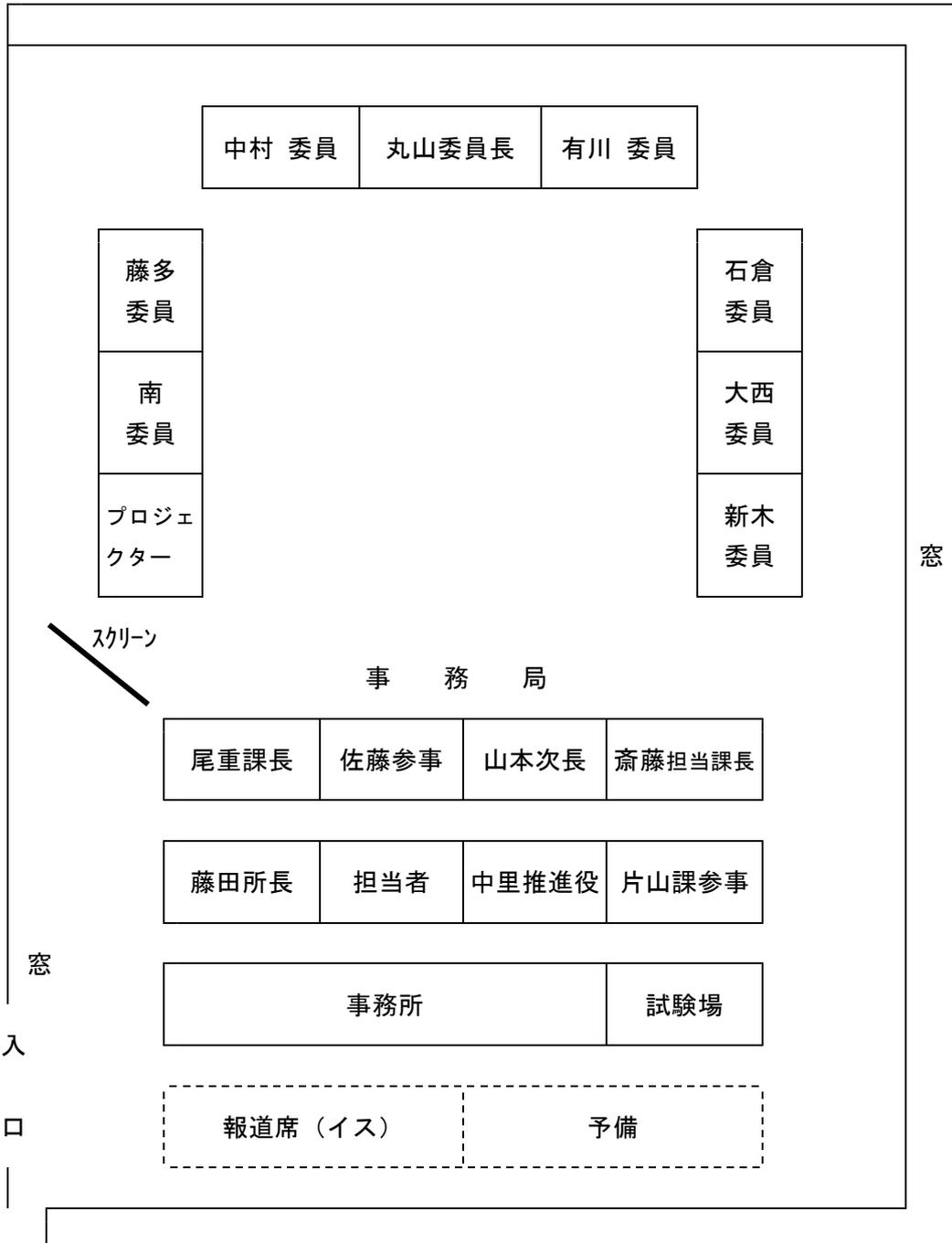
(敬称略：五十音順)

# 平成21年度第2回いしかわ森林環境基金評価委員会 日 程

- 9 : 00 県庁出発 (マイクロバス中型)  
丸山委員長、有川委員、中村委員、藤多委員、南委員  
↓ (バス75分)
- 10 : 15 中能登町 生涯学習センター「ラピア鹿島」集合・休憩 0767-76-1900  
石倉委員 (七尾市)、大西委員 (中能登町)、新木委員 (輪島市) は、ラピアに集合  
↓
- 10 : 20 全員バスに乗車・ラピア出発  
↓ (バス10分)
- 10 : 30 中能登町武部 (林道武部奥山線起点付近)  
↓ (徒歩5分 作業道) 途中に簡易水道施設あり
- 10 : 35 ①環境林整備事業実施林 H21 スギ (5分) 作業道上から視察・説明  
②手入れ不足人工林 (スギ) (5分) 作業道上から視察・説明  
↓ (徒歩5分 作業道)
- 10 : 50 ③手入れ不足人工林 (アテ) (10分) 作業道上から視察・説明  
↓ (徒歩10分)
- 11 : 10 バスに戻る  
↓ (バス20分)
- 11 : 30 ④環境林整備事業実施林 H19 スギ (10分) 林内視察・説明  
↓ (バス10分)
- 11 : 50 ⑤企業の森づくり (のと共栄信用金庫) (10分) パネルで活動説明  
↓ (バス又は徒歩)
- 12 : 10 ⑥大宮坊 (15分) 資料館職員説明  
↓ (バス20分)
- 12 : 45 ラピア着  
昼食・休憩 (45分) 「ラピア鹿島」1F和室  
↓
- 13 : 30 評価委員会 (90分) 「ラピア鹿島」2F会議室
- 15 : 00 // 終了  
↓
- 15 : 10 ラピア出発  
石倉委員 (七尾市)、大西委員 (中能登町)、新木委員 (輪島市) は、ラピアで解散  
↓ (バス 80分)
- 16 : 30 県庁着 解散

# 平成21年度第2回いしかわ森林環境基金評価委員会 座席表

場所：ラピア鹿島 2階会議室



# いしかわ森林環境税 主な取組と実績

平成21年10月28日

農林水産部 森林管理課

項目	前回委員会の意見	主な取組と実績	備考																																																																																						
<p>1 いしかわ森林環境基金(ハード)事業</p> <p>(1) 手入れ不足人工林の解消</p>	<p>平成19、20年度について計画とおりに進捗していることは評価できる。</p> <p>現地を見て、強度間伐の効果を実感した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施状況について地域のバランスがとれているのか。より詳しい説明が必要。</li> <li>・地域バランスがとれた中で、県民に理解を求めることが重要</li> </ul>	<p>○ 環境林整備計画 <span style="float:right">単位：h a</span></p> <table border="1" data-bbox="987 352 2168 437"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23※</th> <th>小計</th> <th>24～28</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>1,300</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,700</td> <td>10,000</td> <td>12,000</td> <td>22,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※法人税収入が H24.6 に確定するため、事業の一部は H24 にずれ込む</p> <p>○ 協定の締結状況等 <span style="float:right">単位 h a</span></p> <table border="1" data-bbox="1005 560 1666 687"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H 1 9</th> <th>H 2 0</th> <th>H 2 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>1,300</td> <td>2,400</td> <td>2,400</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>1,622</td> <td>2,563</td> <td>1,492</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ H21 実績は、上半期（4月～9月）</p> <p>○ 整備状況及び地区別実績（H19～H21） <span style="float:right">単位：h a</span></p> <table border="1" data-bbox="987 831 2152 1219"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>南加賀</th> <th>石川</th> <th>県央</th> <th>中能登</th> <th>奥能登</th> <th>計</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 1 9</td> <td>70</td> <td>171</td> <td>129</td> <td>282</td> <td>648</td> <td>1,300</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>H 2 0</td> <td>263</td> <td>476</td> <td>156</td> <td>366</td> <td>779</td> <td>2,041</td> <td>102%</td> </tr> <tr> <td>H 2 1</td> <td>257</td> <td>205</td> <td>97</td> <td>272</td> <td>738</td> <td>1,569</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>590</td> <td>852</td> <td>382</td> <td>920</td> <td>2,165</td> <td>4,910</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計 画 量</td> <td>921</td> <td>1,841</td> <td>1,006</td> <td>2,082</td> <td>4,150</td> <td>10,000</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>進 捗 率</td> <td>64%</td> <td>46%</td> <td>38%</td> <td>44%</td> <td>52%</td> <td>49%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ H21 実績は、上半期（4月～9月）  ※ H19 実績 1,300ha のうち、376ha は H20 に繰り越して整備を実施  ※ H20 実績 2,041ha のうち、51ha は H21 に支払いを実施</p>	年度	19	20	21	22	23※	小計	24～28	計	計 画	1,300	2,000	2,000	2,000	2,700	10,000	12,000	22,000	年度	H 1 9	H 2 0	H 2 1	計 画	1,300	2,400	2,400	実 績	1,622	2,563	1,492	年度	南加賀	石川	県央	中能登	奥能登	計	達成率	H 1 9	70	171	129	282	648	1,300	100%	H 2 0	263	476	156	366	779	2,041	102%	H 2 1	257	205	97	272	738	1,569	78%	計	590	852	382	920	2,165	4,910	—	計 画 量	921	1,841	1,006	2,082	4,150	10,000	—	進 捗 率	64%	46%	38%	44%	52%	49%	—	
年度	19	20	21	22	23※	小計	24～28	計																																																																																	
計 画	1,300	2,000	2,000	2,000	2,700	10,000	12,000	22,000																																																																																	
年度	H 1 9	H 2 0	H 2 1																																																																																						
計 画	1,300	2,400	2,400																																																																																						
実 績	1,622	2,563	1,492																																																																																						
年度	南加賀	石川	県央	中能登	奥能登	計	達成率																																																																																		
H 1 9	70	171	129	282	648	1,300	100%																																																																																		
H 2 0	263	476	156	366	779	2,041	102%																																																																																		
H 2 1	257	205	97	272	738	1,569	78%																																																																																		
計	590	852	382	920	2,165	4,910	—																																																																																		
計 画 量	921	1,841	1,006	2,082	4,150	10,000	—																																																																																		
進 捗 率	64%	46%	38%	44%	52%	49%	—																																																																																		

項目	前回委員会の意見	主な取組と実績	備考
(2) 公益的機能の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林環境税の具体的な効果を県民に分かりやすく示す必要がある。</li> <li>・ どのような方法で強度間伐による公益的機能の増加を示すのか。(モニタリング調査の整理の方法)</li> <li>・ 一般の方がモニタリング調査に参加できる仕組みを考えてほしい。</li> <li>・ 事業を実施するうえで、クマタカなど森の野生動物に対する配慮をどうするのか示せ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境林モニタリング調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>環境林整備事業を実施した林分の公益的機能の回復状況を把握するため、実施している環境林モニタリング調査の中間報告</li> </ul> </li> <li>・ 間伐率が高いほど広葉樹の更新が促進される</li> <li>・ 谷筋ほど広葉樹の更新本数が少ない</li> <li>・ 植生被度と土砂流出量の関係について</li> <li>○ 「間伐等の森林整備における猛禽類への対応マニュアル」の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>保護区域を設定し、営巣期間における間伐等の森林施業を禁止</li> <li>今後、マニュアルの実行性を高めるための体制を整備</li> </ul> </li> </ul>	

項目	前回委員会の意見	主な取組と実績	備考																												
<p>(3) 森林所有者の理解と協力</p>	<p>ダイレクトメールによる意向調査により、多くの所有者が環境税事業を利用した強度間伐の実施に理解を示していることは評価できる。</p> <p>・環境税事業を利用したくない人が29%いる。理由の分析と対策は。</p> <p>・事業実施（間伐）後の森林の管理について方法を示せ。</p>	<p>○不在村森林所有者等への働きかけ 手入れ不足人工林を所有する森林所有者を対象にダイレクトメールによるいしかわ森林環境基金事業に対する意向調査を実施</p> <p>○地区座談会、基金事業説明会の開催 ・地区別参加数（H19～H21）</p> <table border="1" data-bbox="987 707 2040 930"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>南加賀</th> <th>石川</th> <th>県央</th> <th>中能登</th> <th>奥能登</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>座談会</td> <td>862</td> <td>848</td> <td>784</td> <td>1,251</td> <td>1,047</td> <td>4,792</td> </tr> <tr> <td>説明会</td> <td>1,232</td> <td>1,269</td> <td>455</td> <td>1,538</td> <td>1,151</td> <td>5,645</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,094</td> <td>2,117</td> <td>1,239</td> <td>2,789</td> <td>2,198</td> <td>10,437</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績はH19～H21上半期まで</p> <p>○森林GISを用いた台帳管理 事業実施区域の測量データ（地図データ）を図面に落とし、施業履歴とともに電子データで協定の期間中、管理をする ・協定内容の遵守を監視</p>	地区	南加賀	石川	県央	中能登	奥能登	計	座談会	862	848	784	1,251	1,047	4,792	説明会	1,232	1,269	455	1,538	1,151	5,645	計	2,094	2,117	1,239	2,789	2,198	10,437	<p>単位：人</p>
地区	南加賀	石川	県央	中能登	奥能登	計																									
座談会	862	848	784	1,251	1,047	4,792																									
説明会	1,232	1,269	455	1,538	1,151	5,645																									
計	2,094	2,117	1,239	2,789	2,198	10,437																									

項目	前回委員会の意見	主な取組と実績	備考																												
(4) 労働力の安定的な確保	<p>強度間伐が計画とおり進んでいるのは、労働力がきちっと確保されているからだと評価できる。</p> <p>・ 就業機会や研修など、新規就業者に対する配慮をお願いしたい。</p>	<p>○ 離職者等の雇用対策の一環として林業への就業を支援</p> <p>・ 新規就業者に対するステップアップ研修</p> <p>第1ステップ：就業支援講習 (基礎的な技術研修を県森連で実施)</p> <p>第2ステップ：実務経験 (県委託事業で海岸林整備等を経験)</p> <p>第3ステップ：就業 (森林組合等へ就業し森林整備に従事)</p> <p>・ これまでの取組状況 (単位:人)</p> <table border="1" data-bbox="987 791 1890 1070"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>支援講習</th> <th>実務経験</th> <th>就 業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目・2/2～</td> <td>32</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2回目・4/20～</td> <td>22</td> <td>18</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3回目・9/4～</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>69</td> <td>41</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※就業先 県森連：2人、森林組合：4人、民間：1人</p> <p>○ 建設業者が当基金事業に参入</p> <table border="1" data-bbox="987 1235 1666 1347"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参入企業数</td> <td>7社</td> <td>9社</td> <td>9社</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	支援講習	実務経験	就 業	1回目・2/2～	32	10	5	2回目・4/20～	22	18	2	3回目・9/4～	15	13	—	計	69	41	7		H19	H20	H21	参入企業数	7社	9社	9社	
区 分	支援講習	実務経験	就 業																												
1回目・2/2～	32	10	5																												
2回目・4/20～	22	18	2																												
3回目・9/4～	15	13	—																												
計	69	41	7																												
	H19	H20	H21																												
参入企業数	7社	9社	9社																												

項目	前回委員会の意見	主な取組と実績	備考												
<p>2 いしかわ森林環境基金（ソフト）事業</p> <p>（１）森づくりに対する理解の増進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境税が導入され2年たったが、婦人会の中では認知度が低い。</li> <li>・ パンフレット等をもっと一般の方の目に触れるところに配布してPRに努めてほしい。</li> <li>・ 市町の広報に載せたいので環境税の用途や整備実績等について詳しい情報の提供をお願いしたい。</li> </ul>	<p>○県民の理解と参加による森づくりの推進</p> <p>・ 取り組み事業数</p> <table border="1" data-bbox="1025 416 1948 584"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森づくりに対する理解の増進</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>県民参加の森づくりの推進</td> <td>5件</td> <td>8件</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○県民の理解を増進するための普及広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いしかわ森林環境基金事業（強度間伐）のチラシを市町、公民館等へ配布</li> <li>・ 各種イベントにおけるPRの実施 環境フェア、農林漁業祭り等</li> <li>・ ラジオで強度間伐の実施状況をPR</li> <li>・ 新聞に事業成果等を掲載</li> <li>・ 出前講座を県内各地で開催</li> </ul> <p>・ 平成21年度は、より多くの県民に理解を得るための手法として、市町の広報誌を活用した普及活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の実施状況を各市町の広報誌に掲載 → 12市町が掲載</li> </ul>	事業区分	H19	H20	H21	森づくりに対する理解の増進	3件	4件	6件	県民参加の森づくりの推進	5件	8件	8件	<p>単位：件</p>
事業区分	H19	H20	H21												
森づくりに対する理解の増進	3件	4件	6件												
県民参加の森づくりの推進	5件	8件	8件												

項目	前回委員会の意見	主な取組と実績	備考																														
		<p>○いしかわ森林環境功労者の表彰 ・県民みどりの祭典にて表彰</p> <table border="1" data-bbox="990 416 1666 528"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 0</th> <th>H 2 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授賞者数</td> <td>3者</td> <td>5者</td> </tr> </tbody> </table> <p>○いしかわ森林環境実感ツアー ・手入れ不足人工林の現場と間伐実施林等を見学</p> <table border="1" data-bbox="990 735 1666 903"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 1 9</th> <th>H 2 0</th> <th>H 2 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ツアー回数</td> <td>7回</td> <td>5回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>129人</td> <td>168人</td> <td>131人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○こども森の恵み推進事業 ・森林環境教育や森林体験活動を実施するNPO等の団体を支援</p> <table border="1" data-bbox="990 1110 1890 1278"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 1 9</th> <th>H 2 0</th> <th>H 2 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>16団体</td> <td>16団体</td> <td>17団体</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>4,251人</td> <td>2,798人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H 2 0	H 2 1	授賞者数	3者	5者		H 1 9	H 2 0	H 2 1	ツアー回数	7回	5回	5回	参加者数	129人	168人	131人		H 1 9	H 2 0	H 2 1	団体数	16団体	16団体	17団体	参加者数	4,251人	2,798人		
	H 2 0	H 2 1																															
授賞者数	3者	5者																															
	H 1 9	H 2 0	H 2 1																														
ツアー回数	7回	5回	5回																														
参加者数	129人	168人	131人																														
	H 1 9	H 2 0	H 2 1																														
団体数	16団体	16団体	17団体																														
参加者数	4,251人	2,798人																															

項目	前回委員会の意見	主な取組と実績	備考																								
(2) 県民参加の森づくりの推進	ソフト事業でいろんな団体が参加されているのは評価できる。	<p>○いしかわの森づくり推進月間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年10月を「いしかわの森づくり推進月間」と定め、県下全域で森づくり大会等を実施</li> </ul> <table border="1" data-bbox="990 512 1666 679"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森づくり大会</td> <td>7回</td> <td>5回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>397人</td> <td>755人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○森づくりボランティア推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO等が自主的に行う身近な森づくり活動を支援</li> </ul> <table border="1" data-bbox="990 970 1890 1137"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>14団体</td> <td>17団体</td> <td>15団体</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,410人</td> <td>2,951人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	森づくり大会	7回	5回	6回	参加者数	397人	755人			H19	H20	H21	団体数	14団体	17団体	15団体	参加者数	1,410人	2,951人		
	H19	H20	H21																								
森づくり大会	7回	5回	6回																								
参加者数	397人	755人																									
	H19	H20	H21																								
団体数	14団体	17団体	15団体																								
参加者数	1,410人	2,951人																									

項目	前回委員会の意見	主な取組と実績	備考																													
		<p>○いしかわ県民参加の森づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民から提案された森づくりに関するアイデアを事業化し実施する団体等を支援</li> </ul> <table border="1" data-bbox="990 472 1666 639"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>6団体</td> <td>7団体</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>878人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○企業の森づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森づくり活動による社会貢献に意欲的な企業を支援</li> <li>・企業と森づくりに関する協定を締結し、社員や家族、地元住民が森づくりに参加</li> </ul> <table border="1" data-bbox="990 943 1890 1222"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新たな締結</td> <td>2企業</td> <td>11企業</td> <td>1企業</td> </tr> <tr> <td>締結企業数</td> <td>2企業</td> <td>13企業</td> <td>14企業</td> </tr> <tr> <td>森づくり活動</td> <td>3地区</td> <td>15地区</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>400人</td> <td>1,619人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H20	H21	団体数	6団体	7団体	参加者数	878人			H19	H20	H21	新たな締結	2企業	11企業	1企業	締結企業数	2企業	13企業	14企業	森づくり活動	3地区	15地区		参加者数	400人	1,619人		
	H20	H21																														
団体数	6団体	7団体																														
参加者数	878人																															
	H19	H20	H21																													
新たな締結	2企業	11企業	1企業																													
締結企業数	2企業	13企業	14企業																													
森づくり活動	3地区	15地区																														
参加者数	400人	1,619人																														

項目	前回委員会の意見	主な取組と実績	備考																		
		<p>○いしかわの森整備活動 CO2 吸収量認証事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等が行う森づくり活動による二酸化炭素の吸収量証書を交付</li> </ul> <table border="1" data-bbox="990 512 1666 627"> <tr> <td></td> <td>H 2 0</td> <td>H 2 1</td> </tr> <tr> <td>認定者数</td> <td>6 者</td> <td></td> </tr> </table> <p>○いしかわの身近な森保全事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林所有者等と協定を締結し、里山林等の整備保全及び木材等の利用を協働して行う市町を支援</li> </ul> <table border="1" data-bbox="990 887 1666 1054"> <tr> <td></td> <td>H 1 9</td> <td>H 2 0</td> <td>H 2 1</td> </tr> <tr> <td>市 町 数</td> <td>2 市町</td> <td>3 市町</td> <td>3 市町</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>1 2 5 人</td> <td>2 8 2 人</td> <td></td> </tr> </table>		H 2 0	H 2 1	認定者数	6 者			H 1 9	H 2 0	H 2 1	市 町 数	2 市町	3 市町	3 市町	参加者数	1 2 5 人	2 8 2 人		
	H 2 0	H 2 1																			
認定者数	6 者																				
	H 1 9	H 2 0	H 2 1																		
市 町 数	2 市町	3 市町	3 市町																		
参加者数	1 2 5 人	2 8 2 人																			

## いしかわ森林環境税導入による評価（農林水産部内意見）

## １ いしかわ森林環境基金（ハード）事業

## （１）手入れ不足人工林の解消による公益的機能の確保

平成２３年度までに水源地域の１０，０００haの手入れ不足人工林を優先的に整備するとして環境林整備計画に対して、中間点である今年度上半期までの実績を見ると、４，９１０haとほぼ半数となっており、初年度の遅れを挽回し、順調に進んでいる。

また、強度間伐による植生の回復状況と公益的機能の関係等について、今後もモニタリング調査を続けながら、県民にその効果について分かりやすく開示をしていく必要がある。

## （２）森林所有者の理解と協力

事業の進捗状況をみるかぎり、地域の座談会等で事業の説明を受けた地元の森林所有者は、事業の趣旨・仕組みに対する理解は進んでいる。

しかし、不在村などの情報が伝わりにくい森林所有者等に対しては、今後とも、ダイレクトメール等での意向調査などの取組を続けていく必要がある。

## （３）労働力の安定的な確保

いしかわ森林環境基金事業は、実施後３年目を迎え、安定的な財源による年間を通じた事業の執行が可能となっており、林業事業体では新規雇用を増やし、労働力の確保に努めていることや建設業などの新規参入が整備の推進につながっている。

## ２ いしかわ森林環境基金（ソフト）事業

## （１）森づくりに対する理解の増進

森林の役割等についてパンフレット等の配布、森林環境税実感ツアーなど普及啓発や情報提供を行い一定の成果も見られたが、いしかわ森林環境税自体の認知度がまだまだ低い。

そこで、これまでのように、一方的な情報発信ではなく、県民を巻き込んだ形での、県民参加型の普及広報が必要である。

## （２）県民参加の森づくりの推進

県、市町、各種団体が行うイベント型体験型の森づくり活動は、対象者や活動の場所が固定化されてきており、新たな広がりには欠ける傾向が出てきている。

近年、活動が活発になってきたNPOや企業等が、自ら企画・立案しながら自主的に取り組む森づくり活動を支援する仕組みづくりが必要である。

# いしかわ森林環境税 主な取組と実績

平成21年10月28日  
農林水産部 森林管理課

1

## 1 いしかわ森林環境基金(ハード)事業 (1) 手入れ不足人工林の解消

### ○環境林整備計画

単位: ha

年度	H19	H20	H21	H22	H23	小計	H24~ H28	計
計画量	1,300	2,000	2,000	2,000	2,700	10,000	12,000	22,000

※法人税収がH24.6月に確定するため事業の一部はH24にずれ込む

### ○整備状況及び地区別実績

単位: ha

年度	南加賀	石川	県央	中能登	奥能登	計	達成率
H19	70	171	129	282	648	1,300	100%
H20	263	476	156	366	779	2,041	102%
H21	257	205	97	272	738	1,569	78%
計	590	852	382	920	2,165	4,910	
計画量	921	1,841	1,006	2,082	4,150	10,000	
進捗率	64%	46%	38%	44%	52%	49%	

※計欄は、四捨五入のため一致しない場合がある。  
 ※H19実績1,300haのうち、376haはH20に繰り越して実施。  
 ※H20実績2,041haのうち、51haはH21に支払いを行った。  
 ※H21は、9月末時点。

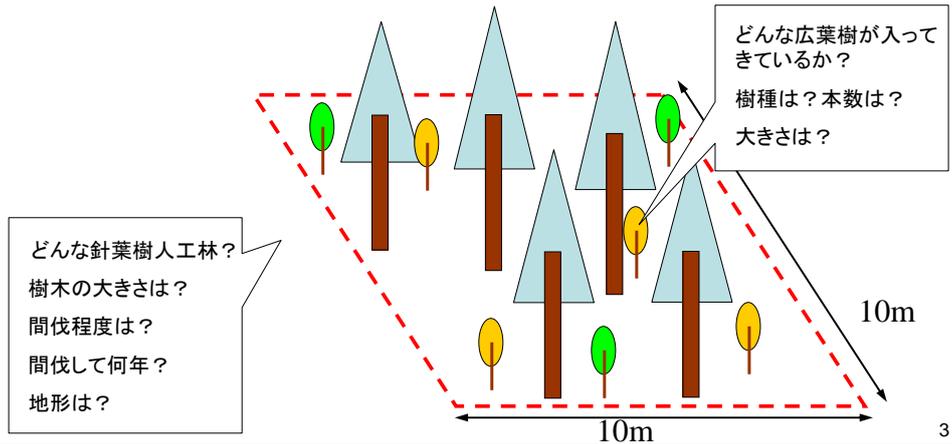
2

## (2) 公益的機能の確保

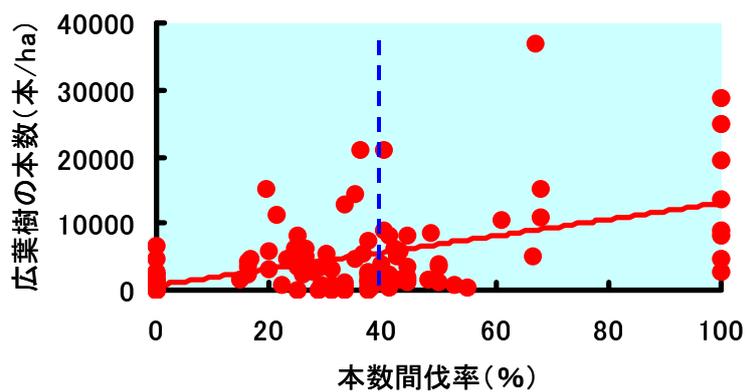
### ○環境林モニタリング調査

#### 1) 広葉樹の更新促進技術の検証

【調査内容】県内110箇所の針葉樹人工林（スギ林78、アテ林25、ヒノキ林7）において、10m×10m枠を設定し、出現する高木性広葉樹の樹種別の本数を調査



### 間伐率と広葉樹の発生本数



間伐率が高いほど広葉樹の更新が促進される

→ 間伐率40%で平均5,000本/haの広葉樹が更新する

## 2) 水土保持機能回復の検証

### 【調査内容】

県内12箇所の針葉樹人工林において、土砂受け箱90基を設置し土砂流出量を観測

どんな森林？

- ・間伐程度は？
- ・間伐して何年？
- ・林内の植生量は？

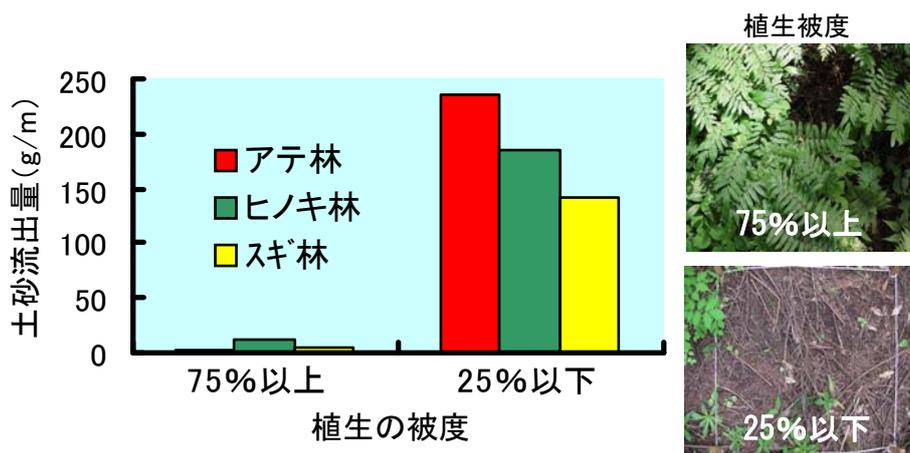


土砂流出量は？

(土砂受け箱に流下する土砂量を観測)

5

### 植生被度別の土砂流出量

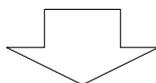


人工林の種類によらず、林内の植生被度を75%以上にすれば土砂流出量が抑えられた

6

○「間伐等の森林整備における猛禽類への対応マニュアル」の作成

希少性、生物多様性保全の観点から、猛禽類の保護の必要性の高まり



猛禽類の営巣活動に配慮した森林施業マニュアルを作成

1. 保護区域の設定

営巣木を中心として半径約1.5km程度を保護区として設定

2. 保護区域における森林施業の取扱い

営巣期間内は間伐等の森林施業は実施せず、立ち入りを控える

3. 研修等の実施

担当者や現場作業員等の知識向上や意識改革のため、研修会等を開催

### (3) 森林所有者の理解と協力

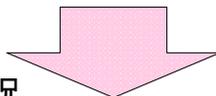
○森林所有者等への働きかけ

地区座談会、基金事業説明会の推進

単位：回、人

事務所	南加賀		石川		県央		中能登		奥能登		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
座談会	32	862	56	848	52	784	58	1,251	52	1,047	250	4,792
説明会	59	1,232	92	1,269	31	455	71	1,538	69	1,151	322	5,645
計	91	2,094	148	2,117	83	1,239	129	2,789	121	2,198	572	10,437

\* H21.9月末までの実績



基金事業の協定締結状況

単位：ha

事務所	南加賀	石川	県央	中能登	奥能登	計
計画	921	1,841	1,006	2,082	4,150	10,000
締結	584	1,343	463	1,046	2,241	5,676
進捗	63%	73%	46%	50%	54%	57%

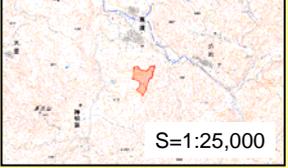
\* H21.9月末までの実績

## ○森林GISを用いた台帳管理

台帳の例

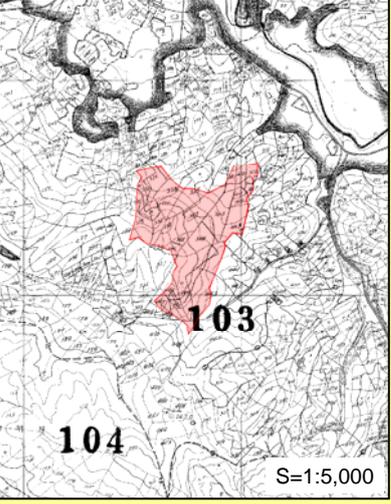
施工地情報	
森林所有者	石川 太郎
協定書番号	4240006
補助金情報	
補助金申請日	平成 19年11月16日
期次	11次
申請番号	424013601-00
事業主体名称	のと森林組合
対象森林	
地番	輪島市門前町馬渡 12-34
林班	103-340
樹種	アテ 林齢35年
申請面積 (ha)	5.8
経度/緯度	137° 12' 45.8" / 36° 44' 27.4"

**概略位置図**



S=1:25,000

**施工区域図**



S=1:5,000

施工前



施工後



9

## (4) 労働力の安定的な確保

### ○離職者等の雇用対策の一環として林業への就業を支援

平成21年2月から講習を3回実施し、現在41名が実務経験中



①基礎的な技術研修を  
県森連で実施



②県委託事業で海岸林  
整備の実務経験

これまでに  
森林組合等へ  
7名就業

### ○建設業者の参入状況

	H19	H20	H21
参入企業	7社	9社	9社

10

## 2 いしかわ森林環境基金(ソフト)事業 (1) 森づくりに対する理解の増進

### ○ 県民の理解を増進するための普及広報

・12市町の広報誌に掲載

**いしかわ森林環境基金事業所内における第1次間伐状況(白山市) 平成21年9月**

市町	実施面積	伐倒木数	材積
白山市	4.2	1,110	11,110
鹿沼市	0.8	200	2,000
津幡町	1.2	300	3,000
野間町	0.5	120	1,200
七尾町	0.3	70	700
小松市	0.2	50	500
野間町	0.1	20	200
合計	7.3	1,870	18,710

▲ 間伐は、森林環境の一環として、中長期的に森林を健全に維持するために実施されています。間伐は、森林環境の持続可能な発展に不可欠な活動の一つとして、市民の理解と参加による森づくりの推進が求められています。

▲ 間伐の実施状況

▲ 間伐の実施状況

白山市

**「いしかわ森林環境基金」による 森づくり(間伐)を実施しています**

手入れ不足人工林の強度間伐

近年では平成18年度から、選別一人あたり100立方メートルのいしかわ森林環境基金の活用により、県内各地で手入れ不足人工林の強度間伐を行っています。強度間伐は間伐強度を高めることで、より多くの木材を生産し、森林の健全な維持・管理を促進します。丁寧な伐採を通じて、自然の恵みを生かす森林環境の向上と、自然環境の持続可能な発展を目指しています。

強度間伐  
間伐強度を高めることで、より多くの木材を生産し、森林の健全な維持・管理を促進します。

宝達志水町での実施状況

宝達志水町での実施状況	これまでの実施状況
伐倒面積	伐倒面積
伐倒材積	伐倒材積
伐倒材数	伐倒材数

▲ 県民の理解と参加による森づくり

森林環境の一環として、選別一人あたり100立方メートルのいしかわ森林環境基金の活用により、県内各地で手入れ不足人工林の強度間伐を行っています。強度間伐は間伐強度を高めることで、より多くの木材を生産し、森林の健全な維持・管理を促進します。丁寧な伐採を通じて、自然の恵みを生かす森林環境の向上と、自然環境の持続可能な発展を目指しています。

▲ 間伐の実施状況

● 強度間伐の実施状況

○ 宝達志水町の実施状況

いしかわ森林環境基金の問い合わせ先  
 国土交通省国土利用・都市政策課 国土政策室 国土政策課長 佐藤 隆夫 電話 03-3542-1143  
 国土交通省国土利用・都市政策課 国土政策室 国土政策課長 佐藤 隆夫 電話 03-3542-1143  
 いしかわ森林環境基金のホームページ <http://www.pmf.ishikawa.jp/shofu/so/index.html>

宝達志水町

## ○ いしかわ森林環境実感ツアー

手入れ不足人工林や間伐実施林等を見学していただくツアーを実施

	H19	H20	H21
ツアー回数	7回	5回	5回
参加者数	129人	168人	131人



輪島市(平成21年9月)



白山市(平成21年8月)

## (2) 県民参加の森づくりの推進

### ○企業の森づくり推進事業

企業がCSRの一環として、植樹などの森づくりを推進。

	H19	H20	H21
新たな協定締結	2企業	11企業	1企業
協定締結企業数	2企業	13企業	14企業
森づくり活動	3地区	15地区	
参加者数	400人	1,619人	

H21はH21.10月時点



中能登町(平成20年10月、のと共栄信用金庫)



小松市(平成21年4月、ジェイ・バス株)

13

### ○市町、NPO等が行う

#### 森林環境教育、森づくり活動等への支援

(単位:団体数)

事業名	H19	H20	H21	計
こども森の恵み推進事業	16	16	17	49
森づくりボランティア推進事業	14	17	15	46
いしかわ県民参加の森づくり推進事業	-	6	7	13
いしかわの身近な森保全事業	2	3	3	8
計	32	42	42	116



中能登町(平成20年5月)



能美市(平成20年11月)

14

## 県民の理解と参加による森づくりに向けた課題

### 森づくりに対する理解の増進

これまで、森林の役割等について  
普及啓発や情報提供  
→ 環境税の認知度がまだ低い。



県民参加型の普及広報へ

### 県民参加の森づくりの推進

これまで、県内各地で森づくりを支援  
→ 活動が固定化してきている傾向  
一方、森づくりに意欲のある企業、  
新たな活動を求める団体等が増加



自ら企画立案型の森づくりを支援